

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成27年10月23日提出
【発行者名】	三井住友アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横山 邦男
【本店の所在の場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号
【事務連絡者氏名】	三島 克哉
【電話番号】	03-5405-0228
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型） 平成27年10月23日付で 「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に ファンド名称が変更されます。
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	継続募集額(平成27年10月23日から平成28年10月20日まで) 1兆5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成27年10月22日付をもって提出しました「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」の有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について、平成27年10月23日付でファンド名称を「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に変更するため、本訂正届出書により訂正を行うものです。

2【訂正の内容】

<訂正前> および<訂正後> に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後> に記載している内容は原届出書が更新されます。また、原届出書の「第二部 ファンド情報」の「第1ファンドの状況 5 運用状況」および「第3ファンドの経理状況」の冒頭に、ファンド名称変更に関する記載事項が追加されます。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

<訂正前>

日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)

以下「当ファンド」ということがあります。また、「資産成長型」と略称することがあります。

<訂正後>

米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)

以下「当ファンド」ということがあります。また、「資産成長型」と略称することがあります。

平成27年10月23日付で、ファンドの名称が「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)」から変更されています。

(4)【発行(売出)価格】

<訂正前>

(略)

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、「NB米国成長」として掲載されます。

(略)

<訂正後>

(略)

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、「米国小型成長」として掲載されます。

(略)

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(2)【ファンドの沿革】

<訂正前>

平成23年7月29日 信託契約締結、設定、運用開始。

<訂正後>

平成23年7月29日 信託契約締結、設定、運用開始。

平成27年10月23日 「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」から「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に名称を変更。

2【投資方針】

(1)【投資方針】

<更新後>

「(1)投資方針」には、当ファンドと実質的な投資対象資産（米国の小型株）が同じで、決算頻度が異なるファンドの情報を合わせて説明している部分があります。

イ 基本方針

当ファンドは、投資信託への投資を通じて、主として、米国の小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ロ 投資態度

(イ) 主として、「ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド（JPYインスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス）」および「マネーインカム・マザーファンド」への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(ロ) 「ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド（JPYインスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス）」を通じて、主として米国の小型株等に投資します。また、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

(ハ) 「マネーインカム・マザーファンド」を通じて、主として円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。

(ニ) 原則として、「ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド（JPYインスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス）」の投資比率を高位に保ちます。

(ホ) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(ヘ) 主要投資対象とするファンドは、下記の通りとします。ただし、運用状況等により変更となる場合があります。

a. ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド

(JPYインスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス)

投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・ヨーロッパ・リミテッド
--------	--------------------------

主要運用対象	米国に本社を有するか事業展開を行っている企業で、米国で上場あるいは取引されている小型株。
運用の基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。

b. マネーインカム・マザーファンド

運用会社	三井住友アセットマネジメント株式会社
主要運用対象	円貨建ての短期公社債および短期金融商品
運用の基本方針	安定した収益の確保を目指します。

上記ファンドの詳細に関しましては、後述の〔参考情報：投資対象とする投資信託の概要〕をご覧ください。

ファンドの特色

1

米国の小型株を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

- 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。
- 主に、取得時に時価総額が30億米ドル以下の株式等に投資します。米国の取引所に上場している米国以外の企業が発行する株式等や、米国で事業を展開し米国以外の取引所に上場している企業の株式等に投資することがあります。ただし、取得時に時価総額が30億米ドル以上の株式に投資することがあります。
- 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。

2

高い参入障壁を有し、持続的な成長が期待できるハイクオリティ企業を徹底的なボトム・アップ・リサーチによって選択し、運用を行います。

- 当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託は、米国小型株運用に強みを持つ「ニューバーガー・パーマン・グループ」(以下、「ニューバーガー・パーマン」といいます。)が運用を行います。

3

資産運用ニーズに合わせてご選択いただけるよう、「毎月決算型」と「資産成長型」をご用意しました。

- 「毎月決算型」は毎月(原則24日)、「資産成長型」は年1回(原則7月24日)決算を行います。(休業日の場合は翌営業日)
- 「毎月決算型」と「資産成長型」は、無手数料でファンド間のスイッチングが行える場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 分配金額は分配方針に基づき委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

- 原則として、「ニューバーガー・パーマン・USスモール・キャップ・ファンド(JPYインスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス)」への組入比率を高位に保ちます。



「毎月決算型」と「資産成長型」は、無手数料でファンド間のスイッチングが行える場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

米国小型株市場の指数の概要

- 米国小型株の代表的指数は、ラッセル2000インデックスです。米国株式市場の時価総額の約98%を占めるラッセル3000インデックスの約9%の時価総額を占めます。
- ラッセル2000インデックスを構成する時価総額上位銘柄の多くは、20～50億米ドルの時価総額の企業となっており、米国の代表的な小型株指数といえます。
- 新興企業が上場する株式市場として著名なナスダック総合指数には、中小型株も多く含まれるものの、指数を構成する時価総額上位銘柄には時価総額100億米ドル以上の大型株も多数含まれています。

指数の名称	ラッセル2000インデックス	ナスダック総合指数	S&P500指数
時価総額で見るとの指数の特徴	代表的な小型株指数	小型株と大型株の両方を包含	代表的な大型株指数
対象銘柄	米国主要市場の銘柄から抽出	ナスダック市場銘柄	米国主要市場の銘柄から抽出
時価総額	2.0兆米ドル	7.5兆米ドル	18.0兆米ドル
配当利回り	1.6%	1.3%	2.2%
PBR(株価純資産倍率)(倍)	2.1	3.4	2.7
PER(株価収益率)(倍)	18.9	18.7	17.0
銘柄数	1,958	2,623	502
時価総額上位5銘柄	アナコール・ファーマシューティカルズ タイラー・テクノロジーズ ウルトラジェニクス・ファーマシューティカル コロムビア・スポーツウェア マンハッタン・アンソシエイツ	アップル グーグル マイクロソフト フェイスブック アマゾン・ドット・コム	アップル グーグル マイクロソフト パークシャー・ハサウェー エクソンモービル

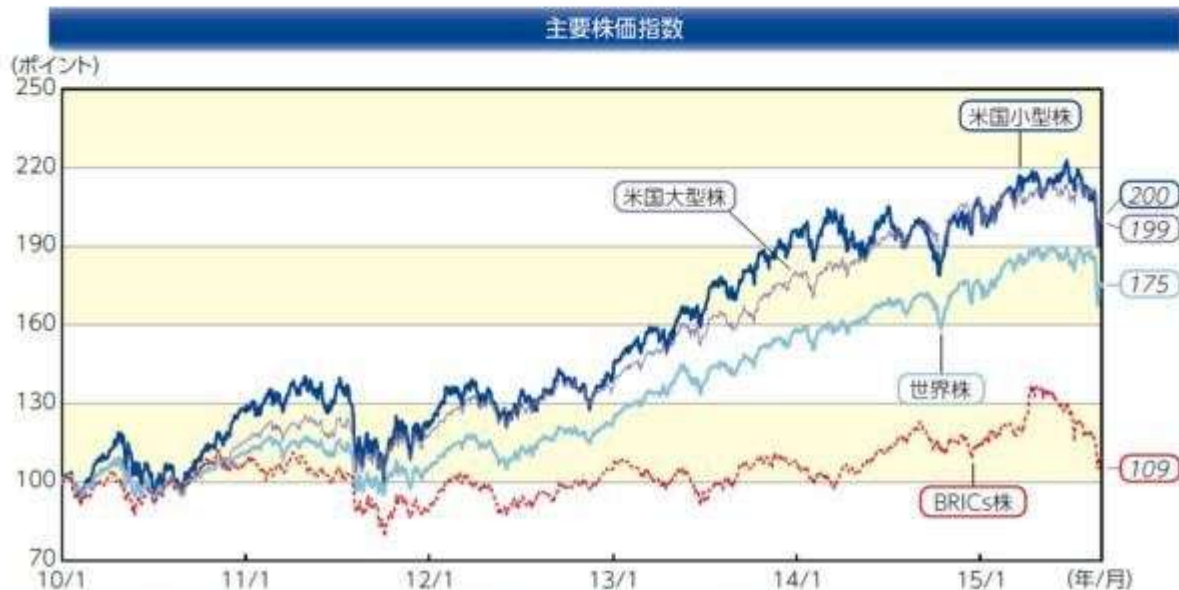
(注1) データは、2015年8月31日現在。PERは黒字企業ベース。

(注2) ラッセル2000インデックスはラッセル3000インデックス構成銘柄のうち、時価総額の小さい約2000銘柄のパフォーマンスを示すインデックスです。ラッセル3000インデックスは米国株式のうち、時価総額で見ると上位約3000銘柄で構成されます。これらのインデックスは時価総額加重平均指数で、米国の主要取引所に上場している銘柄によって構成されます。

(出所) Bloomberg, Russell Investments

米国小型株の魅力

- 2010年1月以降、米国小型株は主要株価指数と比較しても相対的に良好な成績を記録しました。



(注1) データは2010年1月1日～2015年8月31日。2010年1月1日を100として指数化。

(注2) 米国小型株はラッセル2000インデックス、米国大型株はS&P500指数(ともに米ドルベース)を使用。世界株はMSCIワールドインデックス、BRICs株はMSCI BRICインデックス(ともに現地通貨ベース)を使用。指数はすべて配当込み。

(出所) FactSet

※グラフ・データは、参考情報として記載した上記指数の過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資対象とする外国投資信託の運用会社:ニューバーガー・バーマンについて

ニューバーガー・バーマンは1939年創業の米国における老舗の独立系運用会社です。創業以来、一貫して資産運用に従事し、現在では世界18カ国(32拠点)に事業展開しております。伝統資産運用からオルタナティブ運用まで幅広くお客様に運用サービスをご提供しています。



NEUBERGER BERMAN

【設立日】
1939年6月22日

【運用資産残高】
約2,514億米ドル(約31兆円)

【社員数】
約2,000名

本社オフィスビル米国ニューヨーク

沿革

- 1939 ロイ・ニューバーガーによりニューバーガー&バーマン創業
- 1950 米国初の個人向けノーロードミューチュアルファンドの販売開始
- 1958 株式リサーチ専門部門設立
- 1984 米国小型株戦略の運用開始
- 1988 米国小型株戦略のミューチュアルファンドを設定
- 2008 日本に進出(投資運用業の登録)

- 株式運用・債券運用・オルタナティブ運用など多様な運用サービスを提供
- 業界屈指の経験豊富な投資チーム
 - ・小型株チームとして業界最大級の規模を誇る投資チーム
 - ・平均業界経験年数22年の経験豊富な投資プロフェッショナルが運用に従事
 - ・1984年以降の運用実績を有する米国で著名な小型株ファンドを運用
- 米国小型株戦略は、業界第4位の運用資産(154億米ドル)*
 - *eVestmentsに報告されている米国小型株戦略606本のデータを基に算出。2015年6月30日時点。

豊富な
投資経験

徹底した
リサーチを
可能にする体制

パフォーマンス
重視の企業文化

(注) 2015年6月末時点。円換算値は1米ドル=122.12円で換算。

(出所) ニューバーガー・バーマン、Bloomberg

米国小型株の投資哲学

【クオリティこそが成功の鍵】
(Quality is Key to Success)

持続的な利益成長が期待できる
ハイクオリティ企業へ投資を行います。

ハイクオリティ企業の特徴

- ◆ 高い参入障壁を有するビジネスの推進
- ◆ 本業の利益率が高く安定しており、借入など資金調達必要性が低い
- ◆ 一般的な小型株に比べ株価のボラティリティが低く、また、長期的に大きな株価上昇が期待できる

【堅実さは素晴らしい事だ】
(Steadiness is Beautiful)

注目を集めている企業のような派手さはなくとも、**堅実に業績を伸ばしている企業へ投資を行います。**

- ◆ 市場で注目を集める銘柄の多くは一時的な高成長銘柄である場合が多く、また株価のボラティリティも高い傾向にある
- ◆ 上記のような銘柄を避け、企業活動の本質を見極める徹底した分析(財務分析等)を行い、堅実に業績を伸ばしている(今後期待できる)銘柄を選択

高い参入障壁を有し、持続的な成長が期待できる「ハイクオリティ企業」を長期的視点で選択

(出所) ニューバーガー・バーマン

運用プロセス

投資ユニバース:約2,000銘柄
(時価総額:3~35億米ドルの米国小型株銘柄群)

調査における着眼点
「参入障壁の高さ」
●差別化された製品・サービス
●他社比で高い技術力
●高い市場シェア 等

重点調査銘柄:約250銘柄

「フリー・キャッシュフロー」
安定した余剰資金

「バリュエーション」
割安か割高か?

100~150銘柄程度のポートフォリオ
主に、取得時に時価総額が30億米ドル以下の株式等*に投資

*ただし、取得時に時価総額が30億米ドル以上の株式に投資することがあります。

(出所)ニューバーガー・パーマン

上記は、主要投資対象とする外国投資信託の投資プロセスを説明したものです。
2015年6月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

分配方針

<毎月決算型>

毎月24日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

収益分配のイメージ



<資産成長型>

年1回(原則として毎年7月24日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※上の図は収益分配のイメージを示したものであり、毎期の収益分配を約束するものではありません。また「資産成長型」については、分配頻度が「毎月決算型」に比べて少ないことから、運用の複利効果が期待できませんが、運用成績が悪化した場合などは、複利効果によって、その分資産がより減少します。

※分配金額は委託会社が収益分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を考慮して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

3【投資リスク】

<更新後>

イ ファンドのもつリスクの特性

当ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。当ファンドが組み入れる投資信託は、主として海外の株式を投資対象としており、その価格は、保有する株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。当ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、当ファンドの基準価額も上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。また、当ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険、貯金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入していません。

当ファンドが有するリスク等（他の投資信託の組入れを通じた実質的なリスク等となります。）のうち主要なものは、以下の通りです。

(イ) 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、こ

れらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

(ロ) 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ハ) 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

(ニ) カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

(ホ) 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ヘ) 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

(ト) その他の留意点

当ファンドは、いわゆる小型株に着目して投資するファンドであり、株式市場全体の値動きと比較して、相対的に値動きが大きくなる場合があります。また、小型株の値動きが株式市場全体の値動きと異なる場合、ファンドの基準価額の値動きは、株式市場全体の値動きと異なる場合があります。

(チ) 換金制限等に関する留意点

投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

ロ 投資リスクの管理体制

リスク管理の実効性を高め、また、コンプライアンスの徹底を図るために、運用部門から独立した組織(リスク管理部および法務コンプライアンス部)を設置し、ファンドの投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる確認等を行っています。リスク管理部では、主に投資信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングを行います。また、法務コンプライアンス部では、主に法令・諸規則等の遵守状況についての確認等を行います。投

資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価委員会、リスク管理委員会およびコンプライアンス委員会への報告が義務づけられています。

（参考情報）投資リスクの定量的比較

平成27年10月23日付で、「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」のファンド名称が「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に変更されています。以下の情報は、当該名称変更前のデータを記載しています。

日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※左グラフは2010年9月～2015年8月の各月末におけるファンドの直近1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。右グラフは同期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
 ※ファンドの設定日が2011年7月29日のため、左グラフの分配金再投資基準価額は2011年7月末以降のデータを、左右グラフのファンドの騰落率については各月末の直近1年間の騰落率であるため、ファンド設定1年後の2012年7月末以降のデータを表示しています。
 ※ファンドの分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額は基準価額と同じです。
 ※ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額をもとに計算したものと異なります。
 ※右グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数>

日本株…TOPIX (配当込み)
 先進国株…MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)
 新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)
 日本国債…NOMURA-BPI(国債)
 先進国債…シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)
 ※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

「TOPIX(配当込み)」は、株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
 「MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
 「NOMURA-BPI(国債)」は、野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
 「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」は、Citigroup Index LLCが開発した指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
 「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)」は、J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。
 ※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

5【運用状況】

<追加>「運用状況」の冒頭に以下の文言が追加されます。

平成27年10月23日付で、「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」のファンド名称が「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に変更されています。以下の情報は、当該名称変更前の運用状況を記載しています。

第2【管理及び運営】

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

<訂正前>

（ 略 ）

□ 基準価額の算出頻度・照会方法

基準価額は、委託会社の営業日において日々算出されます。

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、「N B 米国成長」として掲載されます。

（ 略 ）

<訂正後>

（ 略 ）

□ 基準価額の算出頻度・照会方法

基準価額は、委託会社の営業日において日々算出されます。

基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、「米国小型成長」として掲載されます。

（ 略 ）

第3【ファンドの経理状況】

<追加> 「ファンドの経理状況」の冒頭に以下の文言が追加されます。

平成27年10月23日付で、「日興ニューバーガー米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」のファンド名称が「米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）」に変更されています。以下の情報は、当該名称変更前の経理状況を記載しています。